

事務連絡
令和3年6月3日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校主管課 御中
各国立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室

建設業若年者理解・定着促進事業（つなぐ化事業）の
教育機関に対する周知について（依頼）

平素より産業教育の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

この度、厚生労働省職業安定局建設・港湾対策室より、別添のとおり、若年者の建設業に対する理解や入職促進を図ることを目的として、昨年度に引き続き、意見交換会や出前授業などを通して主に工業に関する学科を置く高等学校の生徒・教師等と建設業界がつながる機会を設ける事業（建設業若年者理解・定着促進事業（つなぐ化事業））を実施することから、本事業の周知及び参画の協力依頼がありました。

つきましては、本事業について御了知いただくとともに、都道府県教育委員会においては、所管の学校及び域内の高等学校を設置する市町村教育委員会に対し、指定都市教育委員会においては、所管の学校に対し、都道府県私立学校主管課においては、所轄の学校及び学校法人に対し、附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課においては、その管下の学校に対し、このことについて周知いただきますようお願いいたします。

なお、本事業について御不明な点などございましたら、厚生労働省職業安定局雇用開発企画課建設・港湾対策室建設労働係へ直接お問い合わせくださいますようお願いいたします。

【本件担当】

初等中等教育局参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室産業教育係 03-5253-4111（内線 2384）

文部科学省初等中等教育局

参事官（高等学校担当）付産業教育振興室長 殿

厚生労働省職業安定局

雇用開発企画課建設・港湾対策室長

（公印省略）

建設業若年者理解・定着促進事業の教育機関に対する周知の協力について

日頃より、職業安定行政の推進に御協力いただき御礼申し上げます。

さて、建設業において、全就業者に占める若年層の割合が他産業に比べ低い上に、新規高等学校卒業者の入職3年後の離職率については他産業より高いことなどから、次世代の担い手の確保が重要な課題の1つとなっております。

また、若年入職者の伸び悩みや早期離職の背景には、就職先を決定する過程において、知りたい建設業界の情報を十分に得る機会が少ないということが挙げられます。

このため、当省では、若年者の入職・定着促進を図るため、平成30年度から「意見交換会」や「出前授業」など、高等学校等の先生・生徒と建設業界がつながる機会を設ける建設業若年者理解・定着促進事業（以下「つなぐ化」事業という。）を実施し、昨年度は、工業高等学校等を対象に158回の事業を実施いたしました。

つきましては、今年度においても、下記のとおり、都道府県教育委員会、市区町村教育委員会並びに都道府県担当部局及びその管下の高等学校等（以下「教育委員会等」という。）に御周知の上、「つなぐ化」事業へ御参画いただくよう、お取り計らいの程お願い申し上げます。

記

○事業の周知・参画について

「つなぐ化」事業の周知に際しては、別添の本事業のスキーム等の資料及び周知用リーフレットと併せて教育委員会等に周知いただきたいこと。

また、「つなぐ化」事業への参加を希望する際には、以下の専用ホームページへアクセスするよう周知いただきたいこと。

※「つなぐ化」事業 ホームページ (<https://public.lec-jp.com/tsunaguka/>)

〈連絡先〉

厚生労働省職業安定局

雇用開発企画課建設・港湾対策室

建設労働係 谷 tani-shigenori@mhlw.go.jp

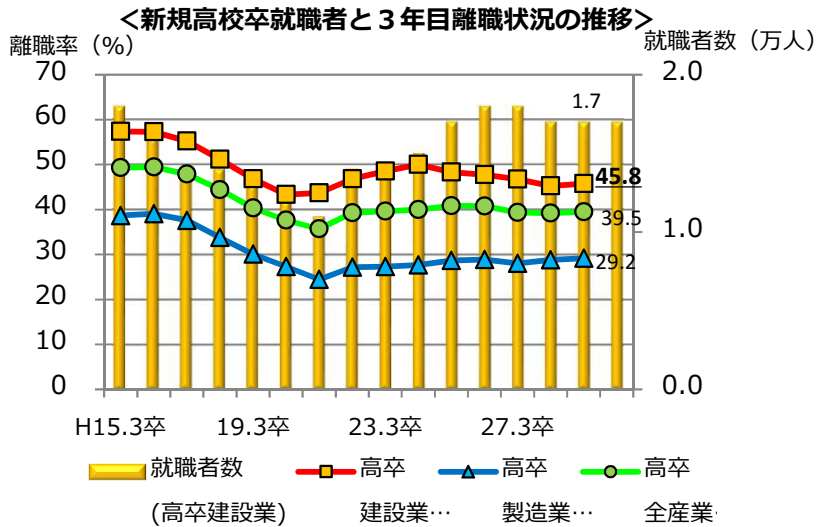
山内 yamauchi-shouta@mhlw.go.jp

TEL 03-5253-1111（内線5804）

建設業若年者理解・定着促進事業(「つなぐ化」)の実施

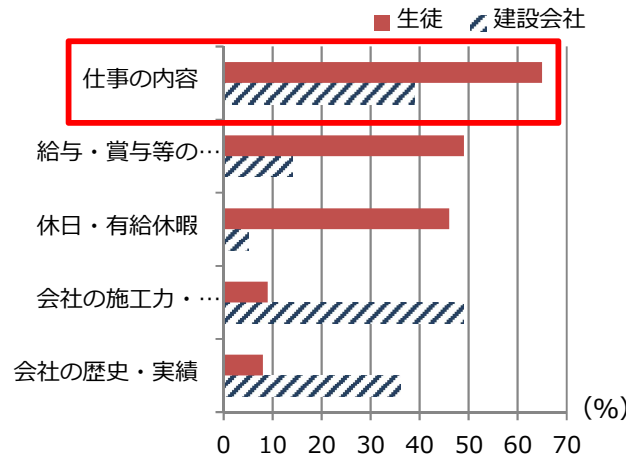
R3 予算額 0.3億円 (R2 予算額 0.3億円)

- ◇ 建設業においては、他産業と比べ高齢化が進行している中、**新規高校卒就職者の就職後3年目までの離職率は常に全産業、製造業を上回っている。**
- ◇ 離職の背景には**就職先を決定する過程において、知りたい情報を十分に受けられていない**ということが挙げられているため、若年者の建設業に対する理解を深め職場定着を促進するため、若年者と建設業界がつながる機会をつくる。



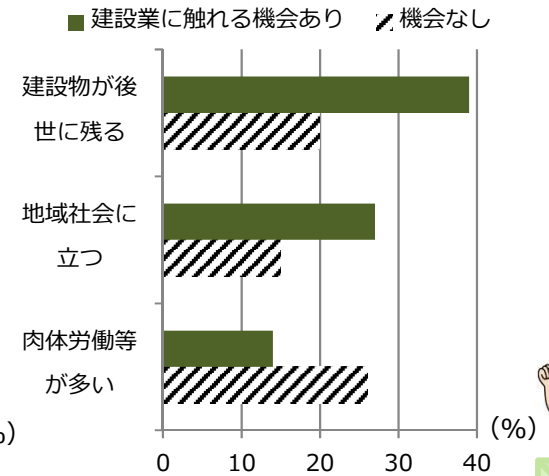
<文部科学省「学校基本調査」>
なお、就職後3年以内の離職状況は、厚生労働省職業安定局とりまとめ

<生徒が重要・知りたいと思った情報と会社がアピールしたい情報>



<国土交通政策研究所:「国土交通分野の将来見通しと人材戦略に関する調査研究」(一部抜粋)>

<建設業に対するイメージ>



▶ 若年者 - 建設業界の「つなぐ化」

若年者の建設業に対する理解や定着促進を図るため、高等学校等の先生・生徒と建設業界がつながる機会をつくるとともに、**取組事例の周知広報を図る。**



出前授業

地域の建設企業・団体が学校を訪問し、建設業の現状や魅力を紹介する取り組みです。



現場見学会

生徒や教師に工事現場を見学してもらい、建設業で働く人たちの就労環境を把握してもらおう取り組みです。



意見交換会

建設業の仕事やその魅力、実際の就労環境などについて意見交換を行う取り組みです。



インターンシップ

職業選択や自身の適性を見極めることを目的に、生徒が建設企業に赴き、職場体験をする取り組みです。

若年者の建設業での定着促進

「つなぐ化」事業

令和3年度 建設業若年者理解・定着促進事業



未来の建設業界と、
未来の担い手をつなぐ。

「知りたい」と「知ってほしい」を結び、 “建設業”という選択肢を広げる機会に。



私たちが暮らす社会の土台づくりを担っている建設業。
その建設業界の未来をつくっていく担い手を育てるために、
建設分野を目指す生徒の「知りたい」と、
人材を発掘したい建設事業者の「知ってほしい」を結ぶ
さまざまな機会を創出するのが『つなぐ化』事業です。
建設業の仕事の内容や醍醐味などを相互理解するまたとない機会を、
キャリア教育の1つとしてぜひご活用ください。

■「つなぐ化」事業とは？

建設業界と高等学校などの生徒・教員がつながる機会を提供することで、
若年層の建設業への理解を深め、建設業界への入職促進と職場定着を図ります。



<「つなぐ化」事業の3つの取り組み>

1 建設のプロの「出前授業」 技を体験!



地域の中小建設企業・団体などが学校を訪問し、仕事内容やその魅力について紹介します。簡単な実作業などを行うプログラムもあり、プロの技を間近で見ることができる絶好の機会です。

<プログラムの流れの一例>

- 1 建設事業者からの挨拶
会社紹介
- 2 建設業について説明
(仕事内容や魅力など)
- 3 テキストやビデオによる建設事例の紹介
実技演習（組立て）など

2 リアルな「現場見学会」 現場を訪問!



地域の中小建設企業・団体などが携わっている工事現場を見学します。工事の規模や背景、使用機材などを実際に目で見て肌で感じると同時に、仕事内容や就労環境などを知ることができます。

<プログラムの流れの一例>

- 1 建設事業者からの挨拶
会社紹介
- 2 見学する現場の状況説明
- 3 実際の現場を見学

3 仕事の「？」を聞く「意見交換会」



地域の中小建設企業・団体などと、高等学校などの生徒・教員が一堂に会し、就職や就労環境、建設業界の現状などについて意見交換を行います。学校側からは建設業界への疑問や要望を、建設事業者からは業界が求める人材像などを伝え、相互理解を深める機会となっています。

<プログラムの流れの一例>

- 1 事業者からの挨拶
会社紹介
- 2 意見交換スタート（●建設業の仕事の魅力とは／●建設業界の将来展望について／●建設業界への就職状況／●若手社員・女性社員の体験談 など）

■お申込み方法

①ホームページから

下記の「つなぐ化」事業ホームページにアクセスし、「お申込みフォーム」よりお申込みください。

<https://public.lec-jp.com/tsunaguka/>



②FAXで

添付の申込み用紙に必要事項をご記入の上、下記番号にご送信ください。

FAX: 03-5913-6409

■お申込みにあたって

- 事業開始日の45日前までにお申込みください。
- お申込み後、事務局より、内容・時期などのご相談についてご連絡いたします。
- 日程によってはご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします。
- お申込みの際にいただいた内容・個人情報は事務局にて厳重に管理し、本事業以外の目的では使用しません。

<学校関係者の方へ>

- ご参加者移動のためのバスチャーター費、実習の際の材料費等、学校側のご負担は原則ございません。詳細は事務局へご確認ください。

<建設関係企業・団体の方へ>

- 建設事業主への助成金と、「つなぐ化」事業の併給を希望される方は、厚生労働省HP「建設事業主等に対する助成金(旧建設労働者確保育成助成金)」のページに記載の「人材確保等支援助成金【若年者及び女性に魅力ある職場づくり事業コース(建設分野)】」をご参照の上、必要なお手続きをお願いします。

【検索方法】：厚労省ホーム → 政策について → 各種助成金・奨励金等の制度 → 建設事業主等に対する助成金

□建設キャリアアップシステム(CCUS)のご紹介

建設キャリアアップシステム(CCUS)は、2019年4月に導入された、建設技能者の処遇改善等を進めるための建設産業独自のシステムで、建設技能者一人ひとりの就業履歴や保有資格などをオール建設産業で蓄積・活用する仕組みです。CCUSにより、若い世代にキャリアパスと処遇の見通しを示し、技能と経験に応じて給与を引き上げるなど、国土交通省主導のもと、建設業界を挙げてCCUSの普及・活用による処遇改善に取り組んでいます。令和5年度からはあらゆる工事でCCUSを完全実施するため、現在、国土交通省や地方公共団体が発注する公共工事などで活用が進められています。

お問い合わせ先 本事業についての詳細や参加方法などについては、下記までお気軽にお問い合わせください。

厚生労働省委託事業「つなぐ化」事業 運営事務局 株式会社 東京リーガルマインド **LEC**東京リーガルマインド 担当：板橋、栗原

〒164-0001 東京都中野区中野4-11-10 アーバンネット中野ビル TEL：03-5913-6085(平日10時～17時) E-mail: tsunaguka2021@lec.co.jp

「つなぐ化」事業 申込書

～未来の建設業界と、未来の担い手をつなぐ。～



令和3年度 建設業若年者理解・定着促進事業

申込日：2021年 月 日

申込み FAX 番号：03-5913-6409

■ お申込みにあたって

- *印の項目は必ずご記入ください。
- 事業開始日の45日前までにお申込みください。
- お申込み後、事務局より、内容・時期などのご相談についてご連絡いたします。
- 日程によってはご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします。
- お申込みの際にいただいた内容・個人情報は事務局にて厳重に管理し、本事業以外の目的では使用しません。

＜お申込者＞						
種別	チェックをお願いします	<input type="checkbox"/>	学校関係者	<input type="checkbox"/>	建設企業・団体	
学校／企業・団体名	*					
ご担当者	*			部署・役職		
TEL	*			FAX	*	
E-mail	*					
所在地	*					
実施希望コース（複数可） チェックをお願いします	*	<input type="checkbox"/> 出前授業 <input type="checkbox"/> その他（	<input type="checkbox"/> 現場見学会	<input type="checkbox"/> 意見交換会 ）		
実施予定時期	*			参加予定人数		
複数回の実施予定が有る 場合、ご記入ください		実施予定回数（		）	実施予定時期（	）
■ <学校関係者のみ> 令和2年度事業への参加実績					(有り)	(無し)
(有り)の場合、令和2年度貴校卒業生の進路につき、下記をご教示ください。 ご回答頂いた内容は本事業を充実させる為の指標として活用し、結果を個別に公表する事はございません。						
建設関連企業への就職者数：（）名						
建設関連学科への進学者数：（）名						
■ 事業実施相手先を決めていらっしゃる場合、下記にご記入ください						
学校／企業・団体名	*					
ご担当者	*					
TEL	*			FAX	*	
E-mail	*					
所在地	*					
【ご要望事項 その他】						

●記載頂きました内容につきましては、厳重に管理し、本事業以外の目的では使用しません。

お問い合わせ先 本事業についての詳細や参加方法などについては、下記までお気軽にお問い合わせください。

厚生労働省委託事業「つなぐ化」事業 運営事務局 株式会社 東京リーガルマインド **LEC** 東京リーガルマインド 担当：板橋、栗原

〒164-0001 東京都中野区中野4-11-10 アーバンネット中野ビル TEL：03-5913-6085(平日10時～17時) E-mail: tsunaguka2021@lec.co.jp